



遂にやってきた修学旅行！

3年生が始まり、新しい環境で忙しくしていましたが、何とか修学旅行を迎えることが出来ました。学活の時間や様々な場面で、お互いに協力・譲り合いをし、修学旅行が充実した3日間になるよう皆さん一人ひとりが頑張ってくれました。そのおかげもあり、民泊や班活動、マリン体験など様々な活動を存分に楽しんでくれたように思います。

民泊では採れたての海産物を御馳走になったり、穴場の場所まで連れて行ってくださったり、お家の方がいろいろ楽しませてくださったことなど、民泊を終えた生徒達からたくさんの報告を受け、先生も体験したかのような気分になりました。何より民泊の方と楽しく過ごしてくれたことが嬉しかったです。中には別れが惜しくて、最後までずっと泣いていた生徒さんもいました。



マリン/漁業体験・肉まんづくり・東京班活動も、多少の事はあったにせよ、皆さん積極的に取り組んでくれました。そして今回のような様々な経験を通して、人との接し方や、物事の考え方が少し変わったように思います。

特に学級委員長の二人は、今回あらゆる場面で学級をまとめ、点呼をして報告する事が多かったと思いますが、最終日に近づくにつれ、誰かに言われずともテキパキと行動してくれたことに委員長としての姿勢が見えて誇らしく思いました。

他の皆さんも一人一人良い一面が見られましたし、皆さん自身様々な思いがあるでしょうが、それは今後民泊の皆さんへのお礼の手紙や、ポートフォリオ等で思いを綴ってくれたらと思います。楽しみにしていますよ。





最後に…

この修学旅行を皆さんが充実できるものにする為には、たくさんの方々の想いや働きがあったことを覚えておいてほしいと思います。家族、先生方、旅行会社の方々、民泊先の方々、現地の方々など…。

自分が何かをする裏側では、必ず誰かが支えてくれています。それはこれから先に訪れる受験でもそうです。

行事を楽しむ中で、どこか頭の片隅にこの事を感じられる余裕を持てるようになれば、より一層人生は豊かになること間違いなしですよ！

思い出がたくさん作れた修学旅行、本当にお疲れさまでした！

残りの学校生活や行事もこの調子で頑張っていきましょう！

